

特集●性差医療から考える—患者の望む医療とは？

性差医療の現状と課題について——東京大学大学院医学系研究科加齢医学 宮尾益理子

性差医学・医療(女性医療)の歴史と進歩—米国における女性医療と

Center of Excellence in Women's Health 展開——千葉大学大学院医学研究院細胞治療学 龍野 一郎

わが国における女性外来ブームに見る患者の望む医療とは？—ウィミズ・ウェルネス銀座クリニック 対島ルリ子

性差医療における医療従事者教育の課題——山口大学大学院医学系研究科保健学系学域 松田 昌子

個人の特性に応じた医療(オーダーメイド医療)と予防——千葉大学大学院医学研究院公衆衛生学 羽田 明

性差と公衆衛生——国立保健医療科学院生涯保健部 加藤 則子

●視点

少子化対策のビジョン——衆議院議員 野田 聖子

●新連載・PHNに会いたい

鎌倉方式(民間委託)と直営保健師の役割—神奈川県鎌倉市——ノンフィクションライター 荘田 智彦

●新連載・性を楽しく語ろう「性の健康学」実況中継！

イントロダクション——セクソロジスト(性科学博士) 中村 美亜

あ と が き

地域の人々の関係性の構築は、公衆衛生活動の基盤であり、なくてはならないものであります。WHO 西太平洋事務局長の尾身茂氏は、かつてから人々の関係性の重要性を強調されています。

コムスは介護保険事業を、ミートホープ社は食品安全のあり方を揺るがしています。企業任せだけではなく、行政、市民との関係性の中で、企業の社会性を高めていくことが必要な時代になっています。保健事業の外部化においても、同様の問題が生じる可能性があります。

さてスポーツの世界では、学校や企業依存型スポーツから、行政、企業、市民との新しいフラットな関係性の上に立つ地域型、市民型スポーツ社会への移行が成功しつつあるように見えます。このスポーツ革命の中心にいらっしゃる

のが川淵三郎キャプテンであります。市民に根ざしたスポーツ文化創生に対する熱き思い、夢、その実践について、今回お話を聞き、お届けさせていただきました。

しかし、本特集内で谷釜氏が指摘されているように、スポーツ大会には為政者や企業家の意図で左右されてきた歴史があることも忘れてはなりません。西欧ではこれまでのスポーツの歴史を乗り越えた市民型社会の中核として「選手」、「市民(サポーター)」を中心に据えた新しい生活文化としてのスポーツ革命が始まっています。

わが国でもすべての市民がスポーツと触れ合う「スポーツ・フォア・オール」運動が動き始めています。「ヘルス・フォア・オール」とも重なる運動であるように思われます。

(高島毛敏雄)

公衆衛生(第71巻 第8号) 2007年8月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,415 円(本体 2,300 円+税 5%) (2007 年々ぎめ予約購読料 28,200 円 ※配送料弊社負担)

発行：株式会社 医学書院 代表者 金原 優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

本誌編集室直通 TEL (03) 3817-5718 FAX (03) 3815-7802

販売部直通 TEL (03) 3817-5659・5660 FAX (03) 3815-7804

E-mail: koshu@igaku-shoin.co.jp 振替口座 00170-9-96693 番

印刷所：三美印刷(株) TEL (03) 3803-3131

広告申込所：(株)東広社 TEL (03) 3409-8803/デザイン：デザイン・プレイス

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

© 2007. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ **JCLIS** (© 日本著作出版権管理システム委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつと事前に(株)日本著作出版権管理システム(03-3817-5670)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

・ 公衆衛生 URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/koshu/>

編集顧問

多田羅浩三 大阪大学名誉教授・放送大学教授

林 謙治 国立保健医療科学院

編集委員 (50 音順)

阿彦 忠之 山形県健康福祉部・衛生研究所

品川 靖子 東京都杉並区杉並保健所

高島毛敏雄 大阪大学・社会環境医学

西田 茂樹 福島県衛生研究所

編集室通信

今年 3 月、健康格差社会第 2 弾の本が弊社から刊行されました。タイトルは『検証「健康格差社会」—介護予防に向けた社会疫学の大規模調査』。高齢者約 3.3 万人の大規模調査を用いた、実証研究報告書です。うつ、転倒、菌、閉じこもり、虐待にも、社会経済的地位による格差があることを検証したものです。この内容については、3 月 18 日に名古屋で行われた日本福祉大学 21 世紀 COE プログラム国際シンポジウムにて一部紹介されました。シンポジウムの要旨を今月・来月と 2 回にわたりお届けいたします。今号ではシンポジウムの基調講演「介護予防のストラテジー」を「特別記事」に掲載しました。ハーバード大学のイチロー・カワチ教授のお話、大変勉強になります。(野中)

(担当/野中・天野)